

主な土壌消毒剤の特徴

有効成分名	商品名	効 果						主な 処理方法	くん蒸期間	ガス抜き 期間
		ワ イ ル ス	か び	細 菌	害 虫	線 虫	雑 草			
クロルピクリン	クロールピクリン、ドジョウピクリン、クロピクテープ、クロピクフロア、クロルピクリン錠剤	×	○	○	○	○	○	土壌注入、 マルチ畦内、 埋設、灌注	地温15℃以上：約10日 地温低い時：約20～30日	不要
D-D	D-D、DC油剤、テロン	×	×	×	○	○	×	土壌注入	7～14日	3～4日 (耕運1回)
クロルピクリン+D-D (混合剤)	ソイリーン、ダブルストッパー	×	○	○	○	○	○	土壌注入	7～14日	3～4日 (耕運1回)
ダゾメット	ガスタード微粒剤、バスアミド微粒剤	×	○	○	△	△	○	土壌混和	7～14日 地温10～15℃：さらに延長 10℃未満：使用しない	10～14日 (耕運2回以上)
カーバムNa塩	キルパー	×	○	○	△	△	○	散布混和、 希釈散布・灌水	7～14日	7～10日
MITC+D-D (混合剤)	ディ・トラベックスサイド	×	○	○	○	○	○	土壌注入	7～14日	7～10日